

委員のみなさま

[本資料の目的]

本資料は、ワークショップでの御意見や意識調査の結果等を踏まえ、市民協働指針に盛り込むべき柱（ポイント）として整理したものです。

第5回まちづくり委員会では、これまでの議論や今回の御意見をできるだけ反映させる形で、指針の素案を提示します。指針の素案は、事務局にて作成します。

第5回まちづくり委員会の御意見を反映させた形で事務局にて修正し、パブリックコメントにて市民の方から意見を募集する予定です。

なお、市としては、今回策定する指針は、匝瑳市の協働における基本的な考え方や方向性を示すものとの位置づけを考えています。

[御検討にあたって]

本資料をたたきに、市民協働指針に盛り込むべき内容などについて御検討ください。【資料3 1. 市民協働指針の柱（ポイント）について（構成・方向性、他に盛り込むべき内容など】に記入をお願いします。

また、第3回まちづくり委員会ワークショップ「テーマ2」で、【協働に対する思い、考え方、キーワード】と【協働を進めるために必要なこと（取組・体制など】について、御検討いただいた内容は盛り込むべき柱として項目立てをしておりますが、特に「協働とは」を明らかにするため、本市らしい協働とは何か（定義）、協働にとって重要な視点は何か（原則）、有効な協働のしかた（形態）等について御意見をいただきますようお願いいたします。【資料3 2. 「協働とは」に対する御意見（定義、領域、原則、形態など】に記入をお願いします。

第1回まちづくり委員会では、まずは「協働」の定義を決めるべき、との御意見もございましたが、ワークショップなどを実施した後に検討するほうがよいとの結論に至り、個別事例の検討を通して協働に対する認識を深める試みを

行いました。進め方等の不手際により、趣旨が十分伝わっていない中での御検討になってしまったと反省しておりますが、匝瑳市にふさわしい協働のあり方について、御議論いただけたらと存じます。

第3回まちづくり委員会でのワークショップ「テーマ1」で御検討いただいた事例については、市民、地域、行政において、匝瑳市における協働の具体的なイメージの幅を広げ、具体的な活動につながっていくよう、資料編に掲載したいと考えています。